

## 説 明 資 料

「働き方の選択に対して中立的な税制」  
を中心とした所得税のあり方

平成 26 年 10 月 6 日(月)

財 務 省

# 目 次

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 1. 「働き方の選択に対して中立的な制度」に関する検討方針    | 1  |
| 2. 働き方や家族のあり方等をめぐる社会・経済の構造変化と所得税 | 4  |
| 3. 配偶者控除に関する主な考え方（これまでの税調答申等から）  | 25 |
| 4. いわゆる移転的基礎控除                   | 34 |
| 5. 課税単位                          | 39 |
| 6. 今後の検討の視点（たたき台）                | 44 |

# 1. 「働き方の選択に対して中立的な制度」 に関する検討方針

## 女性の活躍、男女の働き方改革

女性が輝く社会を目指す。そのため、男女の働き方に関する様々な制度・慣行や人々の意識、ワーク・ライフ・バランスを抜本的に変革し、男女が意欲や能力に応じて労働参加と出産・育児・介護の双方の実現を促す仕組みを関係者で議論し構築していく。

女性の活躍を推進するため、女性の活躍を支える社会基盤となる取組を進めるとともに、役員・管理職等への女性の登用促進の目標達成に向けた情報開示の促進や公共調達の活用等の取組、仕事と子育て、介護の両立を進める企業への支援、女性のライフステージに対応した支援等を進める。さらに、税制・社会保障制度等について、女性の働き方に中立的なものにしていくよう検討を進める。



# 「日本再興戦略」改訂2014 ―未来への挑戦―（抄）

平成26年6月24日 閣議決定

## 働き方に中立的な税制・社会保障制度等への見直し

日本再興戦略では、「女性の活躍推進」の項目において、「働き方の選択に関して中立的な税制・社会保障制度の検討を行う」こととし、税制面では、本年3月以降、政府税制調査会において、女性の働き方の選択に対して中立的な税制の検討を行ってきた。

働き方の選択に対してより中立的な社会制度を構築するためには、幅広く総合的な取組が不可欠である。このため、少子高齢化の進展や共働き世帯の増加などの社会経済情勢の変化の下、女性の活躍の更なる促進に向け、税制、社会保障制度、配偶者手当等について、経済財政諮問会議で年末までに総合的に検討する。

### ・税制について

税制面では、自民党・日本経済再生本部の提言や政府税制調査会におけるこれまでの議論を踏まえ、女性の働き方に対してより中立的な制度とする方策について、経済財政諮問会議と連携しつつ、引き続き政府税制調査会において幅広く検討を進める。

### ・社会保障制度について

社会保障制度については、（中略）、経済財政諮問会議における議論を踏まえつつ、社会保障制度の持続可能性を高める観点や、女性の生き方・働き方に対してより中立的な制度の構築という観点を明示的に踏まえた上で、被用者保険の適用拡大や給付・負担の在り方等を含む包括的な検討を着実に進める。

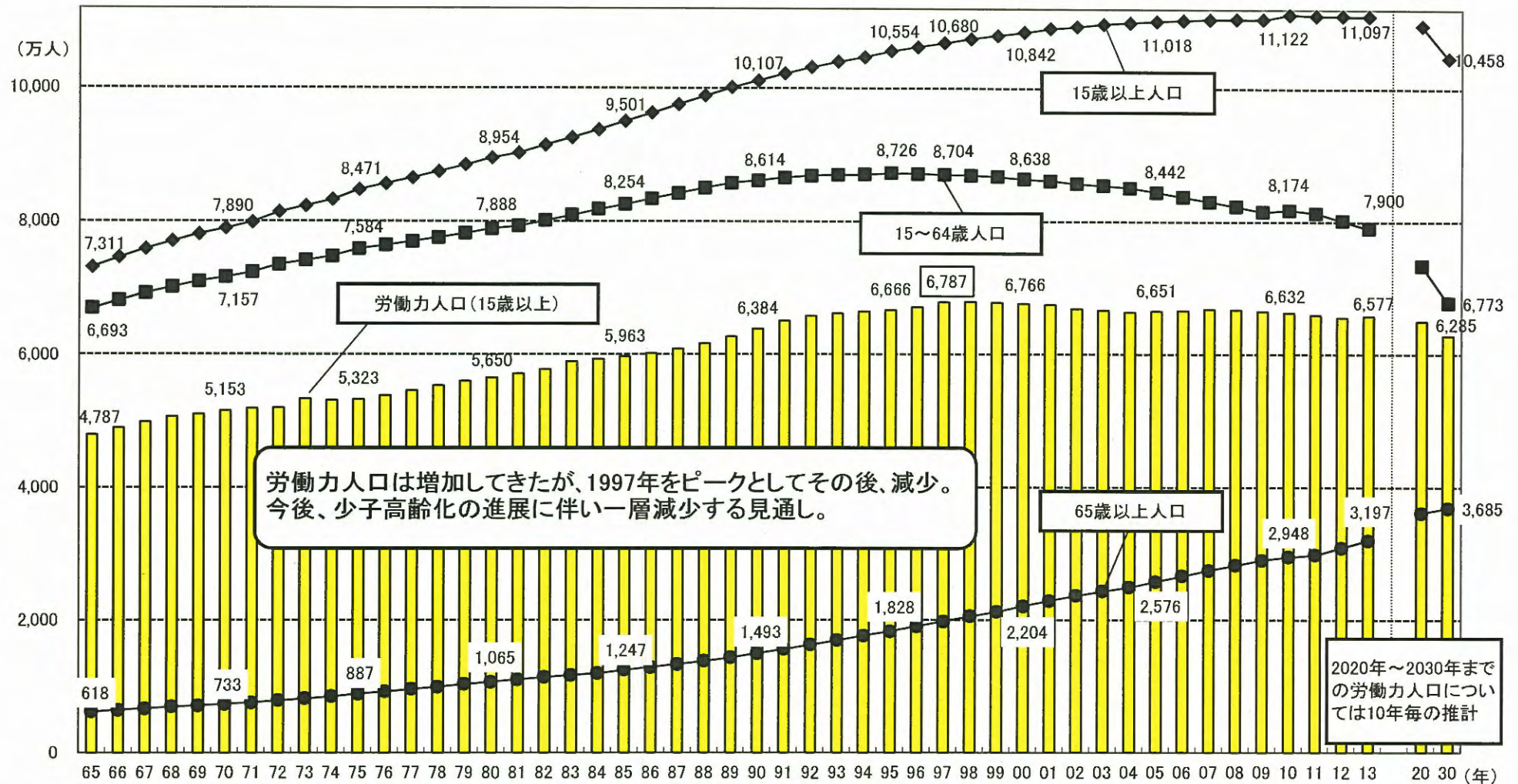
### ・配偶者手当の見直しについて

配偶者を持つ従業員に対し、手当を支給する事例も見られ、結果的に女性の就労を抑制している場合があるとの指摘があることに鑑み、経済財政諮問会議において人事院等に情報提供等の協力を要請しながら議論を深め、配偶者に対する民間及び公務員の手当の在り方について検討を進める。

## 2. 働き方や家族のあり方等をめぐる 社会・経済の構造変化と所得税



## 労働力人口等の推移

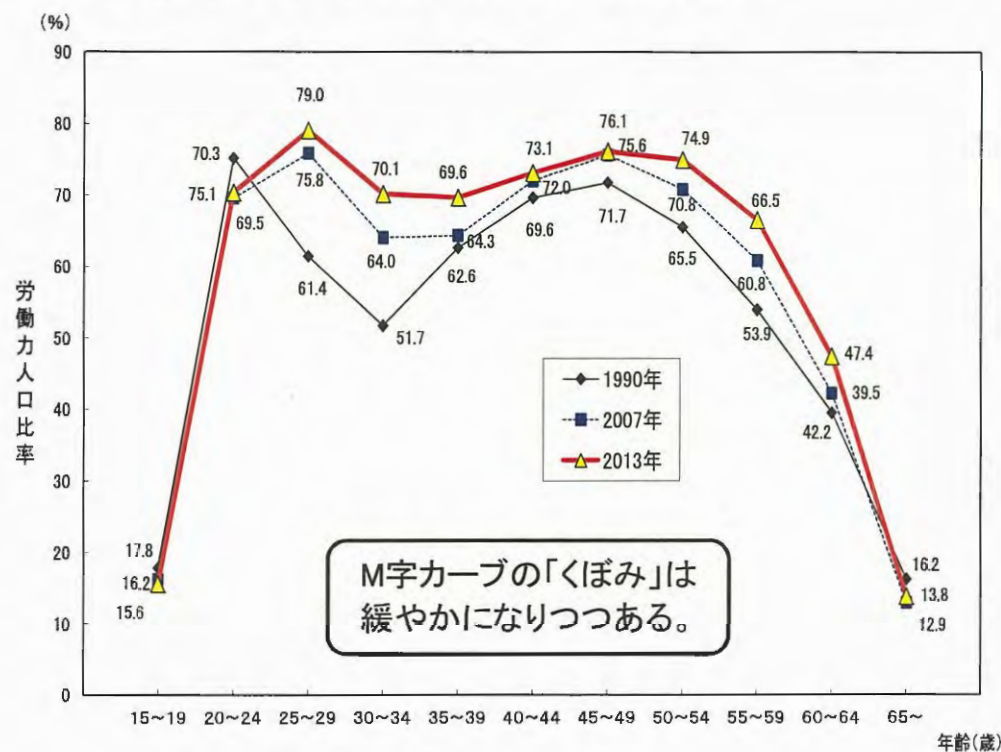


(備考) 労働力人口＝「就業者(雇用者＋自営業者等)」＋「完全失業者」

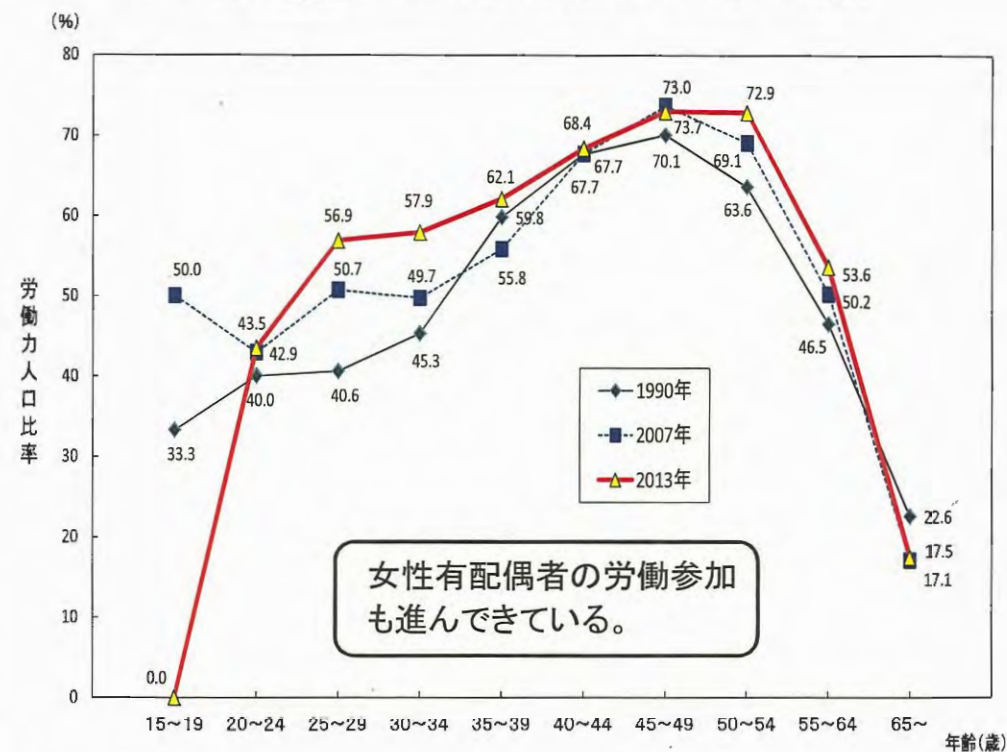
(出所) 人口(15歳以上、15～64歳、65歳以上)については、2010年までは総務省人口推計長期時系列データ、2011年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)による。労働力人口については、2013年までは総務省「労働力調査年報」(1965～1972年については沖縄県が含まれていない。また、2011年については岩手県、宮城県及び福島県において調査が一時困難となり、掲載した数値は補完的に推計した値である。)による。また、2020年から2030年にかけての労働力人口に関する推計は、厚生労働省「厚生労働白書」(平成26年版)による。

## 女性の労働参加の状況

＜女性の年齢階級別労働力人口比率の推移＞



＜女性有配偶者の年齢階級別労働力人口比率の推移＞

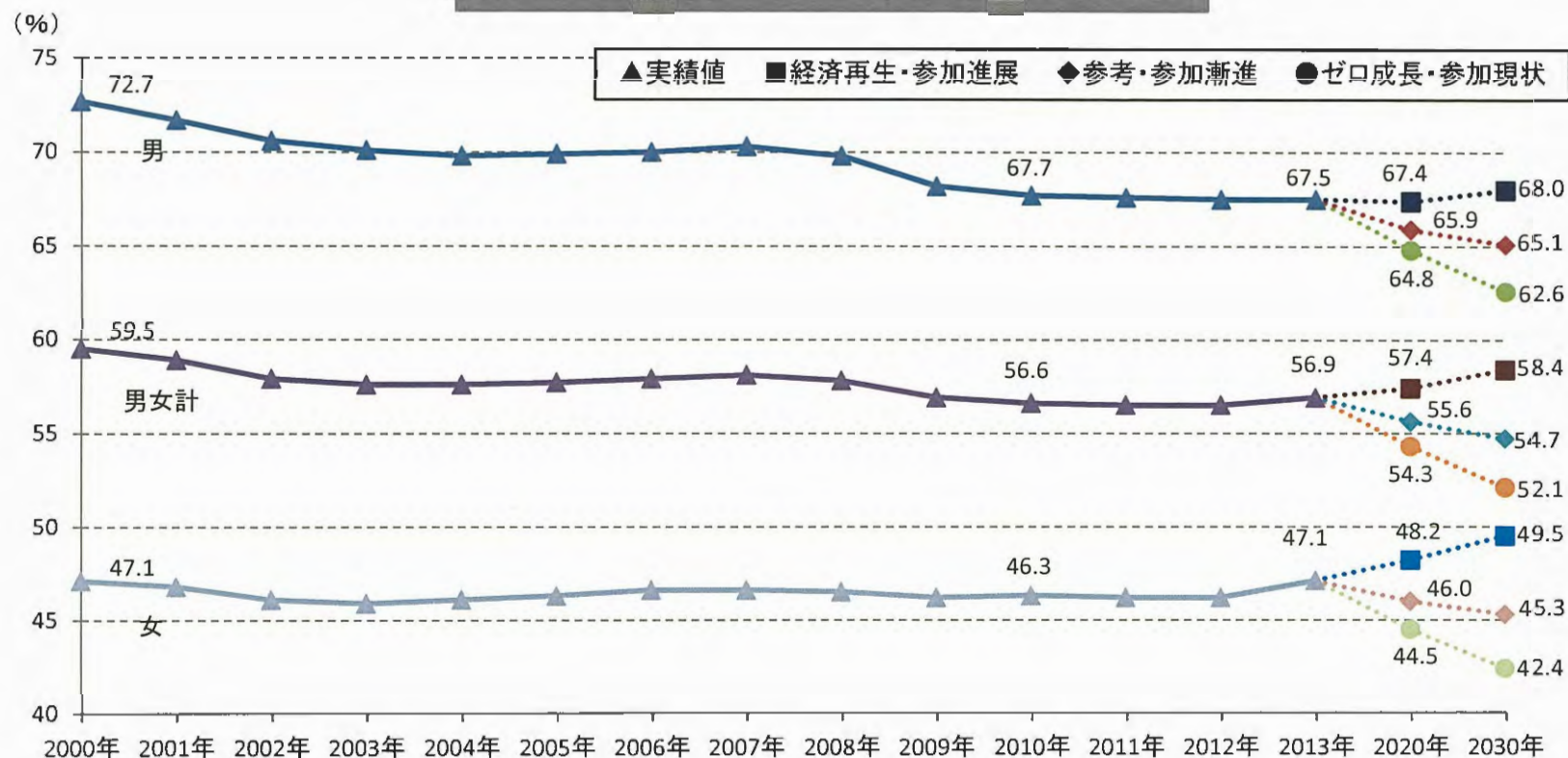


(備考)「労働力人口比率」は、15歳以上人口に占める労働力人口(就業者+完全失業者)の割合。

(出所)総務省「労働力調査」より作成。



## 就業率の推移



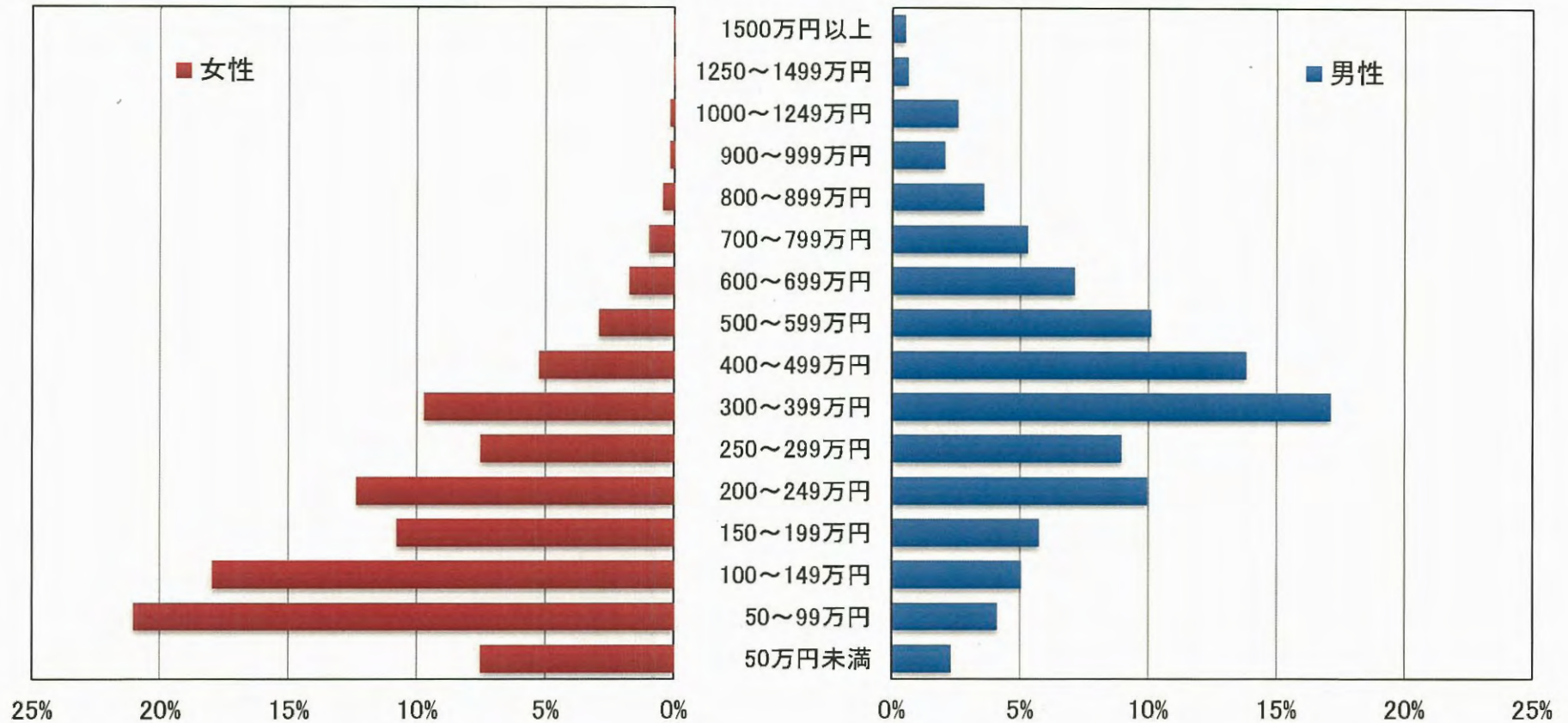
(注) 1. 2013年までの実績値は総務省統計局「労働力調査」、2020年及び2030年は(独)労働政策研究・研修機構「平成25年度 労働力需給の推計」の推計値。  
 2. 「経済再生・参加進展」: 経済成長、及び若者、女性、高齢者などの労働市場参加が進むシナリオ。  
 「参考・参加漸進」: 経済成長、及び若者、女性、高齢者などの労働市場参加が一定程度進むシナリオ。  
 「ゼロ成長・参加現状」: ゼロ成長に近い経済成長で、性・年齢階級別の労働力率が2012年と同じ水準で推移すると仮定したシナリオ。

### <「日本再興戦略」における就業率の成果目標との比較 (単位: %) >

| 性・年齢 |        | 年 | 実績<br>2012年 | 目標<br>2020年<br>日本再興<br>戦略 | 推計            |             |               |               |               |
|------|--------|---|-------------|---------------------------|---------------|-------------|---------------|---------------|---------------|
|      |        |   |             |                           | 2020年         |             |               | 2030年         |               |
|      |        |   |             |                           | ゼロ成長・<br>参加現状 | 参考・<br>参加漸進 | 経済再生・<br>参加進展 | ゼロ成長・<br>参加現状 | 経済再生・<br>参加進展 |
| 男女計  | 20～34歳 |   | 74          | 78                        | 75            | 76          | 78            | 75            | 82            |
|      | 20～64歳 |   | 75          | 80                        | 77            | 78          | 81            | 76            | 84            |
|      | 60～64歳 |   | 58          | 65                        | 58            | 63          | 65            | 58            | 70            |
| 女性   | 25～44歳 |   | 68          | 73                        | 69            | 71          | 76            | 69            | 83            |

(出所) (独)労働政策研究・研修機構「平成25年度 労働力需給の推計」より引用。

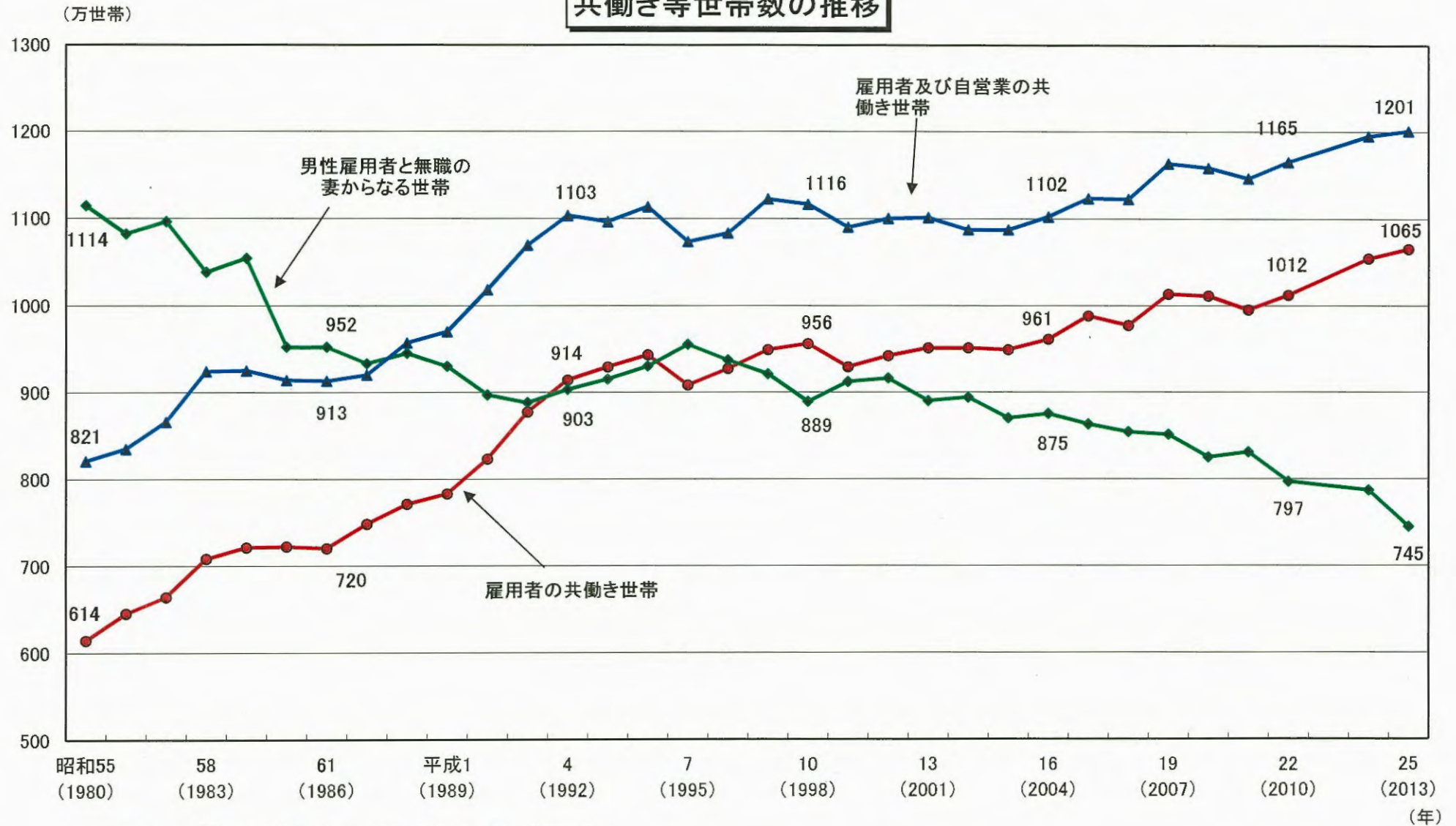
## 男女別所得階層別雇用者割合



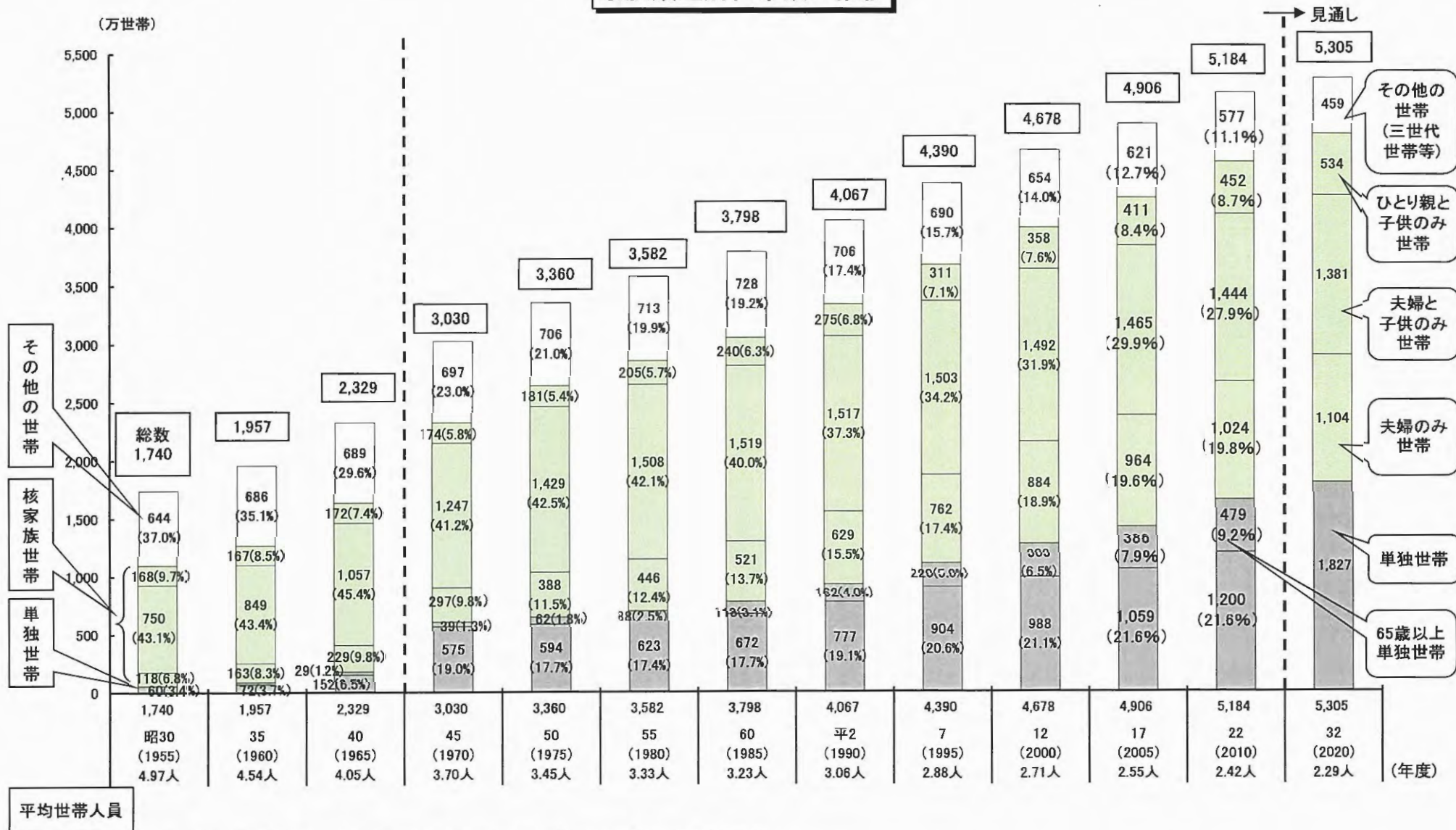
(注) 雇用者から役員は除いている。  
 (出所) 総務省「平成24年 就業構造基本調査」より作成。



## 共働き等世帯数の推移



# 家族類型別世帯数の推移



(備考) ・世帯数：昭和40年(1965)以前は普通世帯、昭和45年(1970)以降は一般世帯の数値。  
 ・平均世帯人員：大正9年(1920) 4.89人 昭和5年(1930) 4.98人 昭和15年(1940) 4.99人 昭和25年(1950) 4.97人  
 ・昭30年(1955)、平成32年(2020)についてはデータの制約上「65歳以上単独世帯」の区分を行っていない。  
 ・数値は四捨五入しているため合計が一致しない場合がある。

(出所) 平成22年(2010)以前：総務省「国勢調査報告」  
 平成32年(2020)：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来集計(平成25年1月推計)」中位推計